

貯法	室温保存	承認指図書番号	農林水産省指令 30 動薬第 3107 号
		販売開始	2011年12月

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。  
また、本書を必要ときに参照できるように大切に保管してください。

### 動物用医薬品

プロスタグランジンF<sub>2α</sub>製剤  
劇薬 要指示医薬品 指定医薬品

## 劇 ジノプロストT注1%「フジタ」

## DINOPROST T INJ. 1% 「FUJITA」

本剤は、天然プロスタグランジンF<sub>2α</sub>（ジノプロスト）のトロメタミン塩を主成分とするホルモン物質製剤です。ジノプロストは黄体退行作用と子宮収縮作用があります。このため、発情周期の調整や卵巣疾患の治療に使用されます。ジノプロストは内因性プロスタグランジンF<sub>2α</sub>であり、吸収・代謝が極めて速やかです。

### 【成分及び分量】

本剤 1 mL 中  
ジノプロストトロメタミン…………… 13.42 mg  
(ジノプロストとして…………… 10.0 mg)

### 【効能又は効果】

馬：(1) 発情周期における黄体期の短縮  
(2) 黄体退行遅延に基づく卵巣疾患の治療  
牛：(1) 発情周期の同調及び黄体期の短縮  
(2) 黄体退行遅延に基づく卵巣疾患の治療  
(3) 黄体退行作用による子宮疾患の治療（子宮内膜炎）  
豚：分娩誘発

### 【用法及び用量】

馬：(1) 発情周期における黄体期の短縮  
排卵後 5 日以降の黄体期にある馬に対し、1 回 1 頭当たり 0.5 mL（ジノプロストとして 5 mg）を筋肉内に注射する。  
(2) 黄体退行遅延に基づく卵巣疾患の治療  
1 回 1 頭当たり 0.5 mL（ジノプロストとして 5 mg）を筋肉内に注射する。  
牛：(1) 発情周期の同調及び黄体期の短縮  
排卵後 5 日以降の黄体期にある牛に対し、1 回 1 頭当たり 1.5 ～ 2.5 mL（ジノプロストとして 15 ～ 25 mg）を筋肉内に注射する。  
(2) 黄体退行遅延に基づく卵巣疾患の治療  
1 回 1 頭当たり 1.5 ～ 2.5 mL（ジノプロストとして 15 ～ 25 mg）を筋肉内に注射する。  
(3) 黄体退行作用による子宮疾患の治療（子宮内膜炎）  
1 回 1 頭当たり 1.5 ～ 2.5 mL（ジノプロストとして 15 ～ 25 mg）を筋肉内に注射する。  
豚：妊娠末期（分娩予定日の 2 日又は 3 日前）の豚に対し、1 回 1 頭当たり 0.5 ～ 1 mL（ジノプロストとして 5 ～ 10 mg）を筋肉内に注射する。

### 休薬期間

本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。  
馬、牛、豚：1 日間

### 【使用上の注意】

#### （基本的事項）

#### 1. 守らなければならないこと

##### （一般的注意）

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。  
馬、牛、豚：1 日間

##### （取扱い及び廃棄のための注意）

- ・本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
- ・本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
- ・注射針は必ず 1 頭ごとに取りかえること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

#### 2. 使用に際して気を付けること

##### （使用者に対する注意）

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

- ・妊娠中の女性、喘息患者、気管支その他呼吸器系に障害のある者に、投与作業を行わせないこと。
  - ・本剤が誤って眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗浄やうがい等を行い医師の診察を受けること。
  - ・本剤取扱中誤って、皮膚に付着した場合は直ちに石けん等でよく洗うこと。
- (対象動物に関する注意)
- ・子宮内、静脈内には投与しないこと。
  - ・本剤は必ず筋肉内に投与し、注射時に注射針が血管内に入っていないことを確認して投与すること。
  - ・本剤投与後注射部位に細菌感染の兆候が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受け、抗菌剤等により適切な処置を行うこと。
  - ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

#### (専門的事項)

- ① 対象動物の使用制限等
  - ・本剤は豚の分娩予定日の4日以前には使用しないこと。
- ② 重要な基本的注意
  - ・本剤を馬の発情周期における黄体期の短縮、牛の発情周期の同調と黄体期の短縮及び子宮内膜炎の治療に用いる場合は、対象動物が黄体期にあることを確認の上、使用すること。
  - ・妊娠中の動物は流産することがあるので、馬及び牛に投与する場合、受胎していないことを確認の上、使用すること。
  - ・牛の子宮内膜炎の治療に用いる場合は、必要に応じ抗菌剤の使用を考慮すること。
  - ・本剤を豚の分娩誘発を目的として使用する場合、ときに投与翌日に娩出を開始しないことがある。
- ③ 副作用
  - ・本剤投与により、馬に一過性の発汗を認めることがある。
  - ・本剤投与により、牛に一過性の流涎を認めることがある。
  - ・本剤投与により、豚に一過性の呼吸促進、流涎を認めることがある。

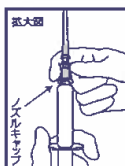
#### 【有効期間】

36 カ月

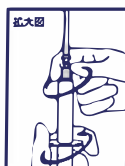
#### 【包装】

- 2.5 mL × 20 本 (プレフィルドシリンジ、18 G・5/8 インチ) ピロー包装
- 2.5 mL × 20 本 (プレフィルドシリンジ、18 G・5/8 インチ) プリスター包装
- 2.5 mL × 20 本 (プレフィルドシリンジ、21 G・5/8 インチ) プリスター包装
- 20 mL × 1 本 (プラスチックボトル)

#### 【プレフィルドシリンジの扱い方】



- ① 必ず注射針を上に向け、片手でノズルキャップ、もう片方の手でシリンジつばを持つ。



- ② ノズルキャップとシリンジ本体との隙間がなくなるまで、ノズルキャップをしっかりとねじ込む。



- ③ 注射針の保護キャップを外し、空気を抜く。

- ・ノズルキャップをねじ込む際は、シリンジ本体を持たずにシリンジつばを持ってください。シリンジ本体を強く押すと内筒と外筒の隙間から薬液が漏れる事があります。
- ・ノズルキャップをねじ込む際は、必ず注射針を上に向けてください。横や下に向けてねじ込むと注射針の先から薬液が漏れることがあります。
- ・ピロー包装は使用時まで開封しないでください。
- ・使用後の残液は容器と共に速やかに廃棄してください。
- ・シリンジの使用は1回限りとし、再使用はしないでください。

#### 【製品情報お問い合わせ先】

フジタ製薬株式会社  
〒193-0942 東京都八王子市栢田町1211  
電話 (042) 661-5528 (代)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要であると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

販売元



ささえあ製薬株式会社  
東京都品川区西五反田七丁目7番7号

製造販売元



フジタ製薬株式会社  
東京都八王子市栢田町1211番地1

FUJITA PHARM